

争議解決なくして安全なし！

JAL 争議の早期全面解決をめざす 12.8 総決起集会 ご協力のお願い

2022 年 10 月 1 日

関係団体・労働組合・個人の皆さま

JAL 争議の早期全面解決をめざす実行委員会

くらしと権利、平和と民主主義を守る活動への取り組みに敬意を表します。

JAL 争議はご承知のように乗員組合（JFU）とキャビンクルーユニオン（CCU）は、会社提案の2年間の「業務委託」を受け入れることで争議終結に合意し、協定に調印しました。12年余にわたる争議に終止符を打ったことになります。

一方、JAL 被解雇者労働組合（JHU、23 人）と、会社との解決協定を不十分とした JFU 組合員の被解雇者 14 人は、闘争を継続するため同労組を離脱し、新たな道を歩みはじめました。

JAL 争議は終わっていません。

私たちはそこに争議がある限り、支援の手を緩める訳にはいきません。「解雇」は資本による最悪の「合理化」攻撃であり、これを許すことは労働者全体に波及する恐れをもっており、決して他人ごとではないからです。解雇撤回闘争は「反合理化闘争」の頂点にあるからです。

改めて全国の皆さんに訴えます。労働者全般のくらしと権利をまもるため、JAL 争議を継続してたたかう被解雇者の皆さんの支援を強化しようではありませんか。

たたかいは JHU が東京都労働委員会で、団交拒否・不誠実団交に対する不当労働行為救済を求める審議に入っています。合わせて、解雇にいたる経過のなかで国交省は重要な役割を果たしており、それらも明らかにするため同省に団交開催を求めています。

また、JHU は JAL 支援共闘も含めて確認した解雇撤回、雇用保障、解決金の支払いなど「統一要求」実現を闘争の柱に立て、運動を進めています。JFU を離脱したみなさんは、たたかう新たな体制づくりを始めています。

この闘争を支援するため有志が集まり相談の結果、新たな情勢を迎えて支援集会を開くことにしました。この集会への参加・ご協力をいただきますようお願いするものです。

—記—

◆と き／2022 年 12 月 8 日（木）18:30～

◆ところ／文京区民センター 3 階会議室 A

◆主 催／JAL 争議の早期全面解決をめざす実行委員会

（連絡先／千代田区労協 Tel03-3265-2905 メールアド・chiyodakurokyo@gmail.com）

JAL 争議の早期全面解決をめざす 12.8 総決起集会呼びかけ人

青柳 義則（JAL 闘争支援東京中部共闘会議）

奥山 信義（練馬全労協）

小泉 尚之（北部労働組合協議会）

小林 秀治（JAL 闘争支援東京中部共闘会議）

鈴木 等（GJ 西部連絡会）

塚原 邦彦（GJ 西部連絡会）

宮垣 忠（JAL 闘争を支援するかながわ連絡会）

米山 哲郎（JAL 闘争を支援するかながわ連絡会）